

発行日
平成28年
(2016)
6月1日

第95号

熟年

じゆく ねん

編集発行
姫路市老人クラブ連合会
(姫路市生涯クラブ)
〒670-0943
姫路市市之郷1006番地8
姫路市すこやかセンター内
TEL (079) 223-6855
FAX (079) 223-6128



「姫路お城まつり」総踊りに参加

高齢化と老人クラブ

姫路市老人クラブ連合会

副会長 中井満明



急速な少子高齢化の中で、高齢者人口が増加しているにも関わらず、残念ながら老人クラブ会員は減少傾向にあります。

要因の一つは、クラブ役員の高齢化が進み、近年後継者がいないため活動ができないと、クラブを解散するケースが生じています。価値観の多様化が影響しているのか、老人クラブ入会者減少で、組織の新陳代謝が進まない事も一因になっています。

この現象は今後の老人クラブ組織の存続に由々しき問題提起と認識し、対策を講じなければなりません。

その対策の一つは、老人クラブとして自治会等と連携し、地域福祉活動・健康増進活動・世代間交流等々をとおして、会員加入の促進を図ると共に若手リーダー、女性リーダーの育成に努め、魅力ある老人クラブづくりが大事かと思っています。

本部・事務局では、会員増強推進事業の一環として、会員の方々にも閲覧していただけるよう、ホームページを開設してPRしています。また運営と活動を掲載したパンフレットを作成し、老人クラブの実践活動を積極的に繰り返し発信していきます。会員の皆様方の一層のご協力もお願い致します。

大会

五月十九日(休)
市民会館大ホール

本年度の姫路市老人クラブ連合
会大会は、石見利勝姫路市長、松
葉正晴市議会議長を始め、各界の
ご来賓を迎えて盛大に行われまし
た。

第一部の式典では、国歌斉唱、
物故者への黙祷、主催者の奥西良
行会長挨拶に始まり、生涯現役
活動優秀団体表彰、永年勤続勇退
者への感謝状贈呈と続き、さらに
市長、市議会議長祝辞、祝電披露
を頂戴して終わりました。

第二部は、落語で演者は夢ノ家
くっかさん、演目は「酒の粕」「お
文さん」の口演に続き、生涯現役
大賞を受賞された、別所校区佐土
新第一・第二老人クラブ「お地蔵
さん」を大切にしている活動を続け
ている」の事例発表がありました。

次いで連合会事務局から、先の
理事会で承認された各事項の報告
が行われ、すべての日程を無事に
終えることが出来ました。

新年度役員

○常任理事・理事・監事は新任のみ

会長		副会長		同		同		同		同		常任理事	
(留)	奥西良行	(留)	中井満明	(新)	村井源七	(新)	長谷川文夫	(留)	森澤弘樹	(新)	宇治貞子	(新)	高谷雅代(東部)
岸藤定信(飾磨)		岡崎恵美子(飾磨)		生木美智子(網走)		仁王春樹(西部)		豊浦文江(西部)		太田輝(北部第二)			

常任理事

富垣俊光(北部第二)	上原英三(家島)	芝本由美子(家島)	山田太郎(夢前)	岡田竹子(夢前)	桑田恵裕(香寺)	福田高子(香寺)	吉井千津子(安富)	古江正広(東部)	春江昭谷(内)	福永司(別所)	馬場孝(御野)	山本延宏(糸引)	早瀬勝(白浜)	古阪昭(白浜)	伏原行磨(東部)	立田政博(英賀保)
------------	----------	-----------	----------	----------	----------	----------	-----------	----------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	----------	-----------

理事

難波孝功(高鹿)	中川左一(妻)	立川京子(網走)	永川和(白鳥)	西川展裕(太市)	加茂田覺(豊市)	奥平照美(船津)	芝原英三(家島)	村上上(豊古知)	岡田太郎(前庄)	池内宏(行菅生)	高坂忠(良上菅野)	中國光(猛助)	尾安一(幸香呂)	千谷雅文(谷外)
----------	---------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	---------	----------	----------

感謝状贈呈者

副会長		常任理事		小		吉		河		永		川		原	
恒子(別所)	みつ子(御野)	鑛一(英賀保)	孝子(網走)	加代子(峰相)	保(豊)	一三(家島)	沢	小	吉	河	永	川	原	副会長	常任理事

常任理事

荒木美枝子(坊知勢)	清水敬造(古南)	高尾米子(安富)	樽植生子(東部)	北出瞳(網走)	石井康(御野)	北澄男(糸引)	石原一(飾磨)	北城孝(磨)	本城正(春網)	森本春(網走)	田中省二(白鳥)	雲山覚雄(上呂)	岩田昭義(香呂)	上野康(四郷)	梅津幸(家島)	水田博(飾磨)	山本正躬(飾磨)	柴垣一(飾磨)	國岡豊(飾磨)	平野博之(南大津)
------------	----------	----------	----------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	----------	----------	----------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	-----------

クラブ会長

薄井將一(網走)	野村員彦(網走)	堂安卓男(林田)	南原隆夫(水増)	藤津平八(増野)	平津壽哉(安野)	和正(和安)	木村真守(室)	松本俊輔(室)
----------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	---------	---------

教養講師 熟年編集委員

松本俊輔(室)

平成二十八年 姫路市政記念式 での市民表彰受賞の方

市老連副会長

常任理事

中井満明(永山)	仁王春樹(青山)	今津繁(船場)
----------	----------	---------

お詫びと訂正
 熟年九十二号の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。
 ニページ 白寿のお名前間違い
 (誤) 梶原壽子 ↓ (正) 梶浦壽子

本年度も愛の募金にご協力下さいますようお願い致します。
 この貴重な募金は主として次のような活動に活用させていただきます。

- 老人クラブ会員の災害見舞金
- 特別養護老人ホームや福祉施設の訪問
- ねたきり・ひとり暮らし会員の訪問
- 友愛訪問活動の研修
- シルバーヘルパー養成研修

平成二十八年年度

生涯現役
優秀団体
表彰

◆生涯現役大賞（1クラブ）
 別所校区 佐土新第一・二老人クラブ

◆生涯現役賞（3クラブ）
 旭陽校区 福井老人クラブ
 城乾校区 南八代町老人クラブ
 助野校区 第三甲組永寿会

平成27年度 愛の募金収支決算書

〈収入の部〉 (単位:円)

項 目	金 額	摘 要
校 区 募 金 総 額	3,546,806	71校区
雑 収 入	8,697	利息
一般会計より繰入金	750,000	市助成金
前年度繰越金	1,270,910	
収 入 合 計	5,576,413	

〈支出の部〉

項 目	金 額	摘 要
地域福祉 災害見舞金給付(火災)	270,000	10件
支援活動 友愛訪問品作り	58,779	
ねたきり会員訪問	388,200	240名
独居会員訪問	1,689,676	1,396名
研修 シルバーヘルパー 地域支援活動費	1,595,415	1,736名(各ブロック)
実行委員会	84,620	6回
事業費合計	4,086,690	
消耗品費	32,100	事務用品
通信費	73,432	
印刷費	78,948	募金の依頼趣意書
雑費	198,680	
事務費合計	383,160	
予備費	0	
支 出 合 計	4,469,850	

次期繰越金 1,106,563円

〈基 金〉

項 目	金 額	摘 要
基 金	44,500,000	(平成28年3月31日現在)

一 般 会 計 報 告

(単位:円)

平成27年度 収入・支出決算表				平成28年度 収入・支出予算表			
収 入 の 部				収 入 の 部			
会 費		9,119,340		会 費		9,360,000	
補助金		14,589,670		補助金		14,710,000	
寄附金		0		寄附金		1,000	
委託費		6,495,000		委託費		6,495,000	
雑収入		20,488		雑収入		21,000	
繰越金		1,840,809		繰越金		2,048,503	
合 計		32,065,307		合 計		32,635,503	
支 出 の 部				支 出 の 部			
会議費		377,876		会議費		410,000	
諸 給		6,965,314		諸 給		6,970,000	
費用弁償		1,245,420		費用弁償		1,300,000	
旅 費		178,440		旅 費		180,000	
需用費		1,282,199		需用費		1,430,000	
諸 費		266,766		諸 費		345,000	
大会費		541,943		大会費		600,000	
慶祝費		1,144,842		慶祝費		1,150,000	
教養文化費		3,687,000		教養文化費		3,687,000	
地域活動費		3,708,417		地域活動費		3,820,000	
研修費		1,794,065		研修費		1,770,000	
広報費		2,690,636		広報費		2,700,000	
調査費		28,259		調査費		30,000	
健康増進費		4,855,627		健康増進費		4,908,000	
繰出金		750,000		繰出金		750,000	
積立金		500,000		積立金		500,000	
予備費		0		予備費		2,085,503	
支出合計		30,016,804		支出合計		32,635,503	

活動報告

曾左の総ざらえ

曾左校区 西崎 利治

「やった大賞とった」その喜びは曾左の誇りです。東坂老人クラブの面々は、公民館の集いを大事にする。みんなが寄ると銭太鼓を始め、桜井先生の舞踊指導とカラオケ交流会が一つになって、楽しむだけではなく、ホームも慰問して皆さんを喜ばせることを身につけている。

もう連続五年、その成果の源は和楽と笑から生まれたものです。支えるスタッフ鳥羽さん戎井さん、まだまだ元気で大賞輝けです。

まだまだある。それは十一年続いたカラオケ交流会です。名倉さんが歌手としてプロデビューされた平成十七年から十一回が終わりました。各町選出歌手八十名が舞台出演の最初は、鐘一つであったが今では鐘三つが普通です。そのはず、カラオケ三昧の人ばかりで、これに満足できずプロの作詞家になった富松正義さんは「姫路城、竹田城哀歌」等をヒットさせた。

いつしか年度末を迎え恒例の小学三年生に「昔のくらし」を学校と老

人クラブで「田井村発祥の地」を福本貞子さんの紙芝居で始まり、昔つかった古い生活道具を体育館に展示し、十二班に分かれクラブ員三十二名が、それぞれの持ち場で説明をしております。

今年は春木会長が平和資料館で借りた姫路空襲のパネル写真も展示し、戦争の悲惨さを分かってもらいたく、今までにない熱の入れようで、いい勉強会のお手伝いが出来たと自負している。参加会員のほとんどがスクールヘルパーです。

主張・随想

大河ドラマ「真田丸」に寄せて!!

香呂校区 木村 雅二

今年のNHKの大河ドラマ「真田丸」が始まった。戦国時代、信州上田の真田幸村（信繁）が数々の戦歴を経て、大坂城の豊臣方の応援のために生涯をつくし、やがて大坂夏の陣で徳川方に攻められ、四十八才で戦死して行く物語である。

信州長野県へは、延べ四回行き県内の有名な松本城、松代城、上田城、高島城、高遠城等、二十数城をめぐる、合戦地や真田家の墓所等、数多

く訪ねました。

私は「全国城めぐり」を始めて十年、昨年十月末、遂に一〇〇〇カ城（関連施設を含む）を達成しました。

今年は城めぐりの最終年と決め、近隣各地をめぐり、資料や写真を整理し、十年間歩んだ道のりを振り返りながら、第二ステージの「お城」の更なる研究に進みたいと考えています。



住宅火災と焼死者

増位校区 高田 幸治

昨冬から今年にかけ厳しい寒さで住宅等の火災が全国的に多発し、そのさい必ず焼死者が出ています。大部分が高齢者ですが若い方もおられます。火災に伴い有毒な一酸化炭素ガスが発生し、このガスを吸入する

と、脳神経がやられて意識がはつきりとしていながら、身体を動かそうとしても動けないで、そのまま焼死してしまうのです。

火災の原因は、石油ストーブの取扱いが悪い、タバコの火の不始末、天プラ等をあげていて離れた、ということが多いと思います。幼いころ父が「泥棒は家まで盗んでいかないが、火事は家ごと焼いてしまうので火の用心をせよ」と厳しく言っていたのを憶えています。

田舎とちがい住んでいる都会では、家屋が接近しているので火災を出すと自己の住宅はもちろん、近所の家も類焼させて生活基盤を破壊し、大変な迷惑をかけますので十分に注意したいものです。

昨年をふり返って

白鳥校区 黒木 タチ子

昨年一年、余りにも沢山の出来事が有りましたが、昔では考えられないことが、科学の発達、人と人とのかわり等、良くも悪くもなってきたと思う。年老いた私には、よく分からないが、とにかく前を向いて行かなければと、出来る限り行事には参加しています。二人一役の時も

あります。

夫が病に倒れ十年になります。後遺症で筋肉が落ち、歩くのおおほつかなくなっていきます。今、デイサービスにお世話になっていきます。

また友人のお誘いで、グラウンドゴルフにも頑張っ、狭心症でシヨックを受けていた夫も、皆様とのグラウンドゴルフや会話をするこゝとで明るくなりました。今は少しですが歩幅も広くなり元気になっていきます。行事にも体調の良い時は、半日でも出て行くように努力しています。グラウンドゴルフ仲間の方々に、元気になった元気になったと言っていたとき、私も心より皆様に感謝しています。

年末の試合には三等になり、いい年の締めくくりとして、「良かったね」と記念ボールを買い求めました。今年も世界の平和が続き、未来に夢を持てるようお願い、グラウンドゴルフに励みたいと思います。

「昔あそび」で子供達とのふれあい交流

勝原校区 牧 末治

一月二十一日にふれあい交流の一回として「昔あそび」をして、勝原小学校の子供達とふれあうことが出



来て若くなった思いがします。

いろんな遊びの中で私は竹トンボ飛ばしのグループに入りあそびを始めました。寒い中、冷たく赤くなつた小ぢやかな可愛い手で、一生懸命に竹トンボを飛ばそうと頑張る子供達、やつては失敗、やつては失敗の連続。少しでも面白く変化をもたせ持続させるよう工夫。滞空時間はわずか数秒。秒数を指で表現、竹トンボを飛ばした子に「あっ今のは五秒」とか「八秒」とか面白おかしく伝え、よく出来た時は拍手を送り、また竹トンボの飛ばし方の「コツ」を手とり足とり教えて楽しい一時を過ごさせていただきました。竹トンボ飛ばしは回数を重ねていくうちに上手になってきましたね。

今日の寒さはどこへやら、私自身そんな気分で楽しく過ごさせていたできました。小学生の皆さんありが

とう。また、機会があれば一緒に「昔あそび」を楽しもうね!!

知覧にて

網干西校区 重永成子

南九州ツアー三日目、知覧の特攻平和会館に行きました。ホールの真ん中には粗末な特攻機が展示されていて、その飛行機の右の翼の下には二五〇トンの爆弾が取り付けられ、左の翼の下には出撃するための片道だけの燃料が積み込まれたそうです。特攻隊は敵艦めがけて「必死」の体当たり作戦だったのです。

明日を生きられなかった四三九名の隊員や家族の心情を思い重ねて、私の胸は押しつぶされそうになりました。

隊員の多くは、現在の高校生や大学生の年代で多感な青年たちでした。彼等はどうな気持ちで飛び立っていったのでしょうか。遺書や手紙は写真と共に展示されており、家族へ、特に母へが多く、感謝の気持ちと永遠の別れがつづられていました。

戦争を知らない世代の私ですが、子や孫が同じ状況におかれたらと思うだけでも恐ろしく、戦争は絶対にあってはならないと思いました。

命を軽視した戦争、大勢の人の犠牲の上に成り立つ平和、深く考えさせられました。

「前頭前野」とは

八木校区 田中リツ子

脳科学者の澤口俊之先生いわく「自分はまだまだ若い」と、思いこめば脳が反応してくれる。日々楽観的に過ごすことが一番だとおっしゃる。前頭前野とは、他の脳領域をコントロールする司令的な役割を担い創造性や意欲・感情の制御にも深く関係するということも初めて知った。(前頭前野は、二十歳を境にして機能が低下していくとか)

脳を健康に保ち元気に暮らしていくためには、人間の脳が持っている能力を使い脳を活性化させることが大切だということも、夢や目標を持ち知識や経験を積み重ねることで、脳に刺激を与えるので、約七年長く生きるというデータも出ていますか。後期高齢者の私にとっても思いあたるふしもあり、喜ばしいお話だと思い実践しようと思っています。

「人間をもっと解明したい」とおっしゃる先生の前頭前野の研究は、どこまで続くのであろうか…。

短歌

熟年歌壇 — 投稿

小松 カツ子 選
谷間より吹き上げてくる桜花の
白の世界の真ん中にいる
老人会の人手となりて芝を張る
海広がれる山の傾りに
家島 塩澤 文字
蜘蛛の巣に架かりて落ちし蝶ならむ
片翅となり地を這いゆくは
野里 綿貫 澄子
ごつごつのしわしわの手でショパン弾く
朝から雨が降りやまぬから
津田 井上 幸子
島山を覆うがに建つ家並みの
西日に照れるカラフルな屋根
家島 大野イト子
死ぬまでに一度逢わむと言ひしひと
春まだ浅き雲間に入りぬ
広畑第二 森下 雄幸
小雨降る庭ひとところ明るみて
白き梅の花散り敷きてをり
勝原 荒堀 治雄
採れたての若布を艦に長く吊り
戻りきたりぬ昼の港に
城 巽 谷 文字
伝統行事また一つ消ゆ初仕事の
トンド作りが中止になりて
大津 田井東吉三

春彼岸土筆の袴をとりながら
仏を偲び語らい尽きず

城陽 黒田 昭代

再会はいつもの茶房いつもの席で
心の扉をノックする友

余部 平山 廣嘉

三味の音に「さんさ時雨」の名調子
歌流れくるみちのく遙か

城東 佐藤 庸夫

春祭りの「百歳音頭」に駆り出され
振りまく笑顔に拍手が起きぬ

網十西 中山小夜子

久々に友と出逢いたる田舎道
共にカートに腰かけ話す

御国野 榮川 米子

つれ合いの残して逝った釣り竿に
想いを寄せる島は夕焼け

青山 藤本 澄子

高齢の被害者家族が映るたび
白髪増えゆき声も痛まし

花田 安部 實

戦いと共に育ちし我が一世
九十一の齢となりぬ

谷内 河本 登

ようやくに春陽を浴びてそら豆は
嬉々としており莢太らせて

青山 片山喜栄子

縮こまる花を労り共に待つ
三寒四温の後に来る春

高浜 青山 春子

左官職の父塗りくれし壁の黄が
五十年経るも淡き色残す

網十西 三木よし子

過疎化する島に老人残りたり
味わいのあるお焦げのように

家島 芝原美恵子

俳句

熟年俳壇 — 投稿

松岡 洋巨 選
○印……秀逸
○波白く碎けて島の野水仙
荒川 上杉 洋子
○閑かさや若木の芽吹く音沁みる
峰 相 木下 秀信
○顔よせて描く眉墨初鏡
妻 鹿 八十川千恵
○枯枝を日の零れをり西の丸
別所 矢島 勉
○春光を背中にためて針仕事
荒川 田中 澄子
○流し雛きらめく海に漂へり
八木 梶原 武子
寒行の僧の太鼓や雨の中
香 呂 清瀬 晃
赤子抱くやうに大根かかへけり
御国野 中村 玉美
天に伸ぶ連理の枝に蝶々かな
荒川 三輪 忠子
摘草に鼻寄せ笑ふ親子かな
飾磨東 室田ひろみ
淡路まで金波銀波の春の海
飾磨東 末綱たか子
ふらここや寺の隣の保育園
八木 山本 幸子
係留の漁船波うつ春一番
飾磨中島 東 勝美
我が寿命糸の如しや翁草
八木 中村 佳行
ライトアップ濠にたゆたふ花の城
城東 井口 由恵
藁囲ひはづせば葱の香たからか
大塩 中村 千里
冬日向おひとりさまのランチかな
荒川 宮部 定子
献立を考へながら糸編む
飾磨西 坪田 眞澄
農婦等はケーキ持ち寄り年忘れ
香 呂 南 中務みき子
いそぎ道ひよいと誇いでつくしんぼ
谷 外 林 庄治
息白く朝の挨拶登校児
広 峰 井上 朝子
裏庭に鈴生り金柑夕映えて
大塩 北越 逸子
下萌や野原を歩く範囲みな
余部 山根 義子
どの部屋も手製の雛の飾り物
勝原 井貫ミヤ子
鬼やらひ帽子逆さに豆受ける
城陽 三木 忠典
春の川鯉の戯る水の音
勝原 福井 京子
冬晴れや鳴門の渦も静かなり
別所 林 昭美
川岸に皮脱ぎ捨てし猫柳
城東 後藤 新男
薔薇の芽の真つ赤に透けて見ゆる朝
中寺 前田眞佐子
大試験終り呪縛の解けにけり
妻 鹿 篠原 泰子
山寺の今満開の桜かな
水上 黒田美知子

〈選者より〉

次回出句の季題は「夏」です。奮って御応募下さい。

すこやか句会 — 趣味の教室

松岡 洋 巨 選
絵日記の梅の香りを嗅ぎにけり
城陽 青山 一蔵
お茶席の摺り足かろし桃の花
四郷 伊藤 淳子
一刀彫の雛小さく笑みたまふ
香呂南 江藤かつえ
猫の髭光る日溜り毛糸編む
糸引 岡本 清子
向き合へば物言ひたげに紅椿
前之庄 片岡サヨ子
恋猫は人の通らぬ道をゆく
古知 亀井 榮弘
一つづつ節目重ねて竹の秋
城東 神崎 幸世
鯛焼を懐に入れ帰路急ぐ
城乾 木下 安江
早朝の信号灯も春の色
豊富 久保 善之
ご苦労さん傘寿の妻に赤頭巾
広畑 黒坂 保矩
ほんのりと塩の味する雛あられ
白浜 小西 敬子
落の臺競ひ合ふかにあちこちと
手柄 菅野 寛
合格の電報受けて賑やかに
花田 菅原 理
老の身を二人三脚青き踏む
城東 鈴木 章子

水ぬるみぶくと顔出す池の鯉

安室東 谷岡 芳子

春浅き出石の町や縄のれん

城翼 中島 保

大太鼓連打合図に山火燃ゆ

荒川 中野 妙子

分身の杖こそ命やぶ椿

増位 仁上モトエ

マニキュアの綾さまざまに針供養

御国野 西田 建

再会の三七子の色紙吊り雛

谷内 橋本和佳子

待ちわびし雛の日無事に迎へけり

城西 長谷川泰子

ひな段の前に撮り合ふ老夫婦

城東 別所佳代子

播磨灘色を変へたる春一番

御国野 三木 敏夫

陽光や庭木の芽吹く音がする

大津茂 望月 久雄

如月の雨しろじろと稚木山

飾磨東 山本 禎次

〈選者吟〉

ひらくと結ぶともなき春シヨール

松岡 洋巨

川柳

熟年川柳 — 投稿

綾部 明美 選
家族葬香典持つて足止まる
昴野 椿 安幸

還暦のお喰い初めには酒二合

水上 田邊 禎一

血圧に一喜一憂朝の膳

妻鹿 篠原 繁明

ア行からだどつてやっとな前出る

谷内 西口 紀夫

なにもかも下降で口だけ上昇中

船津 岡田 啓子

探しもの手に持っていてにが笑

旭陽 越智 悦子

初詣でなんともいえぬ老の鐘

谷外 長浜 和子

鬼はらい鬼より赤い爺の顔

御国野 中村 仁

よそいきの声は相手がわかるまで

網干 津田 良子

メモ持つて買物行つて買い忘れ

船津 平石 聰子

たまに来る見上げる孫におんぶされ

前之庄 三木さよ子

海風きて海苔摘む人の指光る

網干西 丸尾富美子

誰にでも消したい思い紅を引く

南大津 三島 篤子

つくばいに春の訪れ笑み浮かべ

英賀保 木村 倫代

はやばやと雛しまつても娘は嫁かず

選者 綾部 明美

荒川同好会

程ほどに忘れたふりして波立てず
北条てる代
脳に錆とうとう来たな誤字脱字
小林 保子

絵手紙のみかん食み出す里の山

岸 節子

ベッドにてたびたび探す老眼鏡

西島 昭郎

これも縁誕生の日に新年会

中野 博

福寿草春が来たのと顔を出す

飯塚 秋廣

百年の生家の三和土足で踏み

(代表) 中野 忠

川柳『千姫』

前田 芙巳代 選
気にせずに居るが年齢気にかかる

谷外 吉田 五郎

核心に触れないようにリング剥く

城北 美原よしの

うなずいているが背中では反抗す

曾左 福本 貞子

生命線撫でて明日も予約する

手柄 長谷川妙子

すみきつた夜空に月と流れ星

谷内 八百田鶴子

句碑守り戦後を生きた石路の花

水上 田中 怜子

詰めても詰めても残らぬ知恵袋

高岡西 梅田 泰三

炊きたてを食べたいと言う鍋で炊く

八幡 川崎 怜子

女の特権とばかりのランチ会

峰相 洪水 京子



6月からの行事予定

平成28年 6月	
1日(水)	機関紙「熟年95号」発行
10日(金)	校区女性部代表研修会
24日(金)	ニューリーダー研修会
8月	
8月～2月	シルバーヘルパー地域支援活動研修会（各ブロック）
31日(水)～ 9月5日(月)	高齢者作品展 （イーグレひめじ市民ギャラリー）
9月	
9月～11月	「米寿・白寿」慶祝記念品贈呈 歩こう会（各ブロック）
26日(月)	SPC(シルバーパーククリーン)作戦
28日(水)	ニュースポーツ全市大会
10月	
1日(土)	機関紙「熟年96号」発行
27日(木)	高齢者スポーツ大会

高齢者作品展

出展作品を募集します

出展資格

満60歳以上の姫路市民

募集作品

洋画、日本画、水墨画、書、陶芸、彫刻、盆栽、写真、工芸、手芸等
自己創作で未発表の作品。一人一作品。
一人で搬入可能な大きさのもの。

展示期間

8月31日(水)～9月5日(月)

展示場所

イーグレひめじ 市民ギャラリー

申込方法

7月8日(金)までに、ハガキ、ファクスまたはメールで、部門と作品名(ふりがな)、サイズ、日本画・水墨画・書は作品の形状(軸・額の別)、洋画は作品の号数、手芸は作品の種類、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、8月31日現在の年齢を生涯現役推進室まで。

申込先

〒670-8501
姫路市安田四丁目1番地 生涯現役推進室
TEL. 221-2986 FAX. 221-2045
メール▶ ikigai@city.himeji.hyogo.jp

※応募多数の場合は調整させて頂くことがあります。

高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)の申請はお済みですか



平成27年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる人(昭和27年4月1日以前に生まれた人)に「高齢者向け給付金」が支給されます。申請受付期間は平成28年7月13日までとなっております。申請がお済みでない方はお早めにお手続きください。

◆問い合わせ先

姫路市 臨時給付金コールセンター TEL 079-221-2922

開設時間：9:00～17:00(土・日・祝日除く)

「高齢者向け給付金」を装った振り込め詐欺や個人情報の詐取にご注意ください。

梅雨空の下で色とりどりのアジサイが目を楽しませてくれます。会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。
熊本地震が発生いたしました。被災されました方々には、心からお見舞いを申しあげます。一日も早い復興を心よりお祈りいたします。
熟年九十五号も会員のみなさまのご協力で発行することができました。今後も気軽に投稿くださいますよう、お待ちしております。
(編集部)

編集後記

『熟年』の原稿を募集します。

投稿規程

- (1)投稿は、会員に限ります。
…校区名・氏名・電話番号を楷書で
- (2)クラブ活動の様子・提言・随想・詩など
…写真やイラストを除いて400字以内で
詩は、16字×20行以内
- (3)短歌・俳句・川柳など
…はがき1枚に1人3首(句)まで
俳句は、俳句欄末の兼題で(雅号不可)
- (4)編集の都合で添削し、割愛または次号に回すことがあります。
原稿は、すべて返却しません。ご了承ください。

原稿の送り先

〒670-0943 姫路市市之郷1006-8
姫路市すこやかセンター内
姫路市老人クラブ連合会 事務局「熟年」係
次回締切りは8月1日です。

機関紙「熟年」は、ホームページでもご覧いただけます。

姫路市老人クラブ連合会

検索

URL <http://www.hime-ro-ren.com/>

老人クラブ事務局
執務時間

月・火・木・金 9:00～17:00
土 9:00～15:00
水・日・祝日 休日